



トピックス

平成 29 年 10 月 8 日

NO.4 6

10月の全校朝会の話より

10月3日（火）の全校朝会でこんな話をしました。

みなさんの中にも自転車に乗るのが好きな方が多いと思います。自転車に乗って走っていると、いろいろな場面に遭遇します。良い事ばかりではありません。例えば、信号無視して交差点を横切っていく自転車や、無灯火で走る自転車を見かけます。なかには、後ろからチリンチリンとベルを鳴らしながらすぐ横を抜き去っていく自転車にヒヤリと身を縮めることがあります。すごいスピードで人と人の間をすり抜けていく自転車に驚いたこともあります。自転車の乗り方やマナーとしてやってはいけないことなのですが、よくそうした場面に出合ったことがあるのは、私だけではないと思います。

そんなある日、新聞に投稿されたひとつの記事が目にとまりました。松戸市に住んでいる人が普段の出来事を書いて送ったものです。記事の概要は、

二人で国道の歩道を歩いていると、小学生高学年くらいの女の子が前から自転車に乗って近づいてきたので、右側に寄って縦に並んで進みました。すると女の子は、自転車から降りて歩き出しました。もしか私たちのためにといい、すれ違いざまに笑顔で会釈すると、女の子もほほ笑んで少し頭を下げました。そして、また自転車に乗って走っていったのです。…」

という内容でした。

自転車の乗り方についての話になると、どちらかというと良くない内容が多いので、このような「女の子の気遣い」の記事に出会うとホッとしますね。この女の子は、お家か、学校か、で自転車のマナーについて学んでいたのでしょうか。子どもたちは、「自転車のマナー」「気遣い」「思いやり」について学ぶ機会がたくさんあります。でも頭の中では理解できても、それを実際の場面で行動にうつすことができるかということ、そうとは限りません。ここが難しいところなのです。だからこの女の子は素晴らしいのです。街中のちょっとした「いい話」をしました。

新聞記事も「女の子の振る舞いが素敵に思えました。大人も見習いたいものです。」と締めくくられていました。